

社協 しゃきょう かみかわ

No.125

地域福祉の情報紙

2026

8・9 月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会



表紙より

みんなで見つけた、雨の日の楽しみ。ー猪篠 あじさいの径にてー
まちの子育てひろば「はだしっ子」おさんぽ会より

主な記事

2.3 ページ 令和7年度社協事業報告及び会計決算

4 ページ トライやるウィーク

5 ページ ひと花通信 私たちの町のボランティア㉓

6 ページ みんなの写真展

7 ページ 日常生活自立支援事業の紹介

障がい者基幹相談支援センターの紹介

8 ページ ひとり暮らし高齢者の集いの終了について
バザーのお知らせ

シニアカレッジ公開講座のご案内

9 ページ 姫路十字会助成事業、相談所カレンダー

10 ページ 感謝のお知らせ かみかわペンリレー㉔

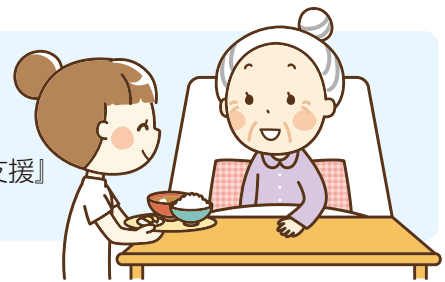
事業報告及び会計決算

福祉教育・ボランティア活動の推進

- 児童・生徒が取り組むボランティア活動や福祉学習に対する支援…町内5校
- 職員が学校へ出向き福祉について説明 4回 講師紹介 3件
- ちょっといいこと運動（児童・生徒）…夏休み期間中に町内の全ての学校の児童・生徒が参加
- ボランティア登録状況…登録ボランティアグループ 89 団体（+ 6 団体）、個人 44 名（- 1 名）
- ボランティア活動助成金の交付…1,691,252 円（57 グループと 2 個人）
- 宿題終わらせよう会…2回 小学生延べ 43 名、ボランティア計 13 名参加
- ボランティアセンター連絡会議…年 1 回 ●ミニデイの運営支援…7 回

居宅介護サービスの提供他

- 自宅で食事やトイレの介助、家事支援をおこなう『訪問介護事業』
- 介護サービスの利用計画を作成する『居宅介護支援事業』
- 障がいがある方へのホームヘルプサービス等の提供『障害者自立支援』
- 介護福祉士実務者養成研修…8 名受講



障がい者活動支援

- 多機能型事業所ひと花（生活介護サービス・就労継続支援 B 型サービス）
- 障がい者の介護サービス利用計画を作成する『指定特定相談支援事業所』
- 障がい者やその家族の悩みの最初の相談窓口『障がい者基幹相談支援センター』

12月～再開

..... 会 計 決 算 単位 / 円

入ってきたお金

内 容	決 算 額
皆様にご協力いただく会費、募金、寄付金・・・①	7,374,129
県や町からの補助金、受託金・・・②	54,920,650
事業、サービスの利用料・・・③	1,680,710
介護保険サービスを提供して入るお金・・・④	59,820,093
障害福祉サービスを提供して入るお金・・・⑤	46,781,931
その他の収入・・・⑥	3,557,854
前年度からの繰越金・・・⑦	83,258,045
合 計	257,393,412

使ったお金

内 容	主な財源	決 算 額
全職員の人件費	②④⑤⑥	138,423,267
2～3 ページに記載している事業にかかる経費	①③④⑤⑥⑦	27,489,362
合 計		165,912,629

積み立てたお金

内 容	決 算 額
本会の安定運営や将来への備えのための積立金	20,000,000
ひと花の修繕積立金	1,000,000
合 計	21,000,000

繰越金

内 容	決 算 額
次年度への繰越金	70,480,783

令和7年度 神河町社協

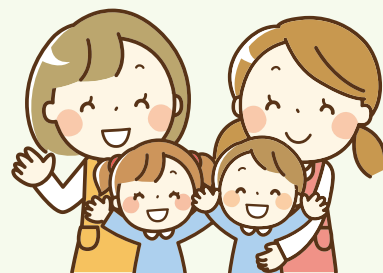
法人組織運営、広報活動と自主財源の確保

- 理事会 5回 ●評議員会 3回 ●監査 2回 ●評議員選任解任委員会 1回
- 広報紙『社協かみかわ』発行 年6回 ●ホームページ、Instagramでの発信 随時
- 社協会費…一般会費 3,253,500円 特別会費 500,000円 (76事業所1個人)
- 善意の募金運動 1,017,493円 (昨年比+0.1%) ●善意銀行寄付金 1,738,136円 (57件)
- 介護事業職員の勤務評価制度導入準備 (R8年4月より導入)



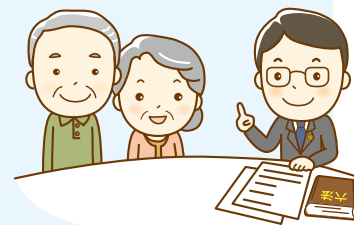
当事者を支援する活動

- 見守りを目的とした福祉給食サービス…利用者 120名 延べ 4,074食を配食
協力：調理ボランティア 18グループ 配食ボランティア 39名
- まちの子育てひろば活動支援…町内のまちの子育てひろばへの助成 6団体
まちの子育てひろば連絡会 8月
- 一人暮らし高齢者 (77歳以上) の食事会…10月 56名 ※令和7年度で終了
- 介護者の会『たまゆらの会』事務局…年6回開催
- ご提供いただいた生活用品などを安価で販売する『福祉ぶちショップ』…年2回
- 歳末助け合い募金を活用した事業 配分総額 1,686,288円
準要保護児童生徒就学援助費受給児童への支援金…67名
身体が不自由な方への年末大掃除サービス…6世帯
在宅で療養されている方へのお見舞い品…42名
1歳を迎えたお子さんへの紙おむつ (2袋) 配布…27世帯
身体が不自由な方の外出旅行『遠くへ行こうデー』…15名



住民安心サービス

- 生活に困られている方の電気代や食費の立替…4件
- 判断能力が十分でない方の日常の金銭管理のお手伝い…利用者 12名
- 行政相談員や人権擁護委員、社協職員が相談に応じる『暮らしの安心相談』…9件
- 兵庫県弁護士会から派遣された弁護士が相談に応じる『法律相談』…33件
- 車いすやベッドの貸出し…7年度中の新規貸出し 車いす 33件、介護用ベッド3件
- 常時車いすを使用されている方の通院送迎…利用者 33名
- 車いすのまま乗車できる福祉車両の貸出し…延べ 45回
- 車を持たない高齢者の買い物支援…月1回 登録者数 17名
- 集落協議体とブロック協議体の運営支援…3集落、2ブロック
- シニアカレッジ公開講座の開催…8月
- 生活サポーター養成講座の開催…10月 7名受講
- 生活サポーターフォローアップ研修の開催…1月
- 生活困窮者への食糧支援 (赤い羽根ぬくもり応援パック) …5回 利用者 17名
- ひと花が見守りを兼ねて毎週コープ商品を届ける『見守り個配サービス』…利用者 14名
- 町内5法人による社会福祉法人連絡協議会 (通称：ほっとかへんネット) の立ち上げ…4月



優良活動表彰
を受けました

地域とともに学ぶ五日間

ートライやる・ウィーク受け入れー

当会では、本年度のトライやる・ウィークにおいて中学生二名を受け入れました。最初は緊張した様子も見られましたが、活動中に利用者の方から感謝の言葉をいただく場面もあり、生徒たちにとって貴重な経験となったようです。



▲みんなの畑で収穫したほうれん草を使ってカップケーキを作っています。

期間中は、みんなの畑での作業や福祉給食サービス、ひと花での作業、見守り個配、ヘルパーとの同行（家事支援）、ケアマネジャーとの同行訪問など、社協が行うさまざまな事業を体験しました。体験では、ボランティアさんや地域の方々、利用者さんと交流を通して、人を支える仕事についての理解を深めました。

二人の感想を紹介します



くさかべ こころ
草壁虹心乃 さん

私は五日間、社会福祉協議会でトライやるウィークをしました。最初は緊張しましたが、利用者さんと話しながら楽しく活動できました。また、みんなの畑の草引きでは、地域の人などに一生懸命取り組みました。二日目には、福祉給食サービスの配食の同行を通して、高齢者の方々に支えていることを学びました。

特にうれしかったのは、お弁当を届けた時に、利用者さんが泣いて喜んでくださったことです。その姿を見て、お弁当を届けることは、ただの食事を運ぶだけではなく、利用者さんの安心や楽しみにつながっているのだと感じました。

今回、社会福祉協議会で五日間トライやるウィークをさせていただきました。それを通して、人を支える仕事の大切さや、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを学びました。この経験をこれからの学校生活に生かし、周りの人を思いやる気持ち大切にしていきたいです。



ふじわら こう
藤原 豪 さん

トライやるは、初日にいんな所にあいさつをしに行きました。みんなの畑で、草引きや種植えをしました。午後はひと花で字を書きました。二日目は、ほうれん草のカップケーキを作

りました。ほうれん草がおいしい味を出して、とてもおいしいと思いました。午後は一人暮らしの人に弁当を配りました。雨が降っていて寒かったけど、皆さんの言葉であたたかくなりました。三日目は、ひと花でお茶入れをしたり袋入れをしました。袋入れは僕より利用者の人の方が早かったので、負けるかと自分の中で対抗心を燃やしていました。午後は弁当を分けてボランティアの人に配りました。四日目は一人で暮らしている人の家に行つて家事のお手伝いをしました。手伝いをするとても感謝されてうれしかったです。午後はコープの商品を配りに行きました。とても喜んでくれました。僕はトライやるで、いろいろな人がいて自分ができることを全力でする姿を身近で見れて、話を聞けて本当にいい経験になりました。五日間本当にありがとうございました。

最終日には、体験をやり終えた明るい笑顔が見られました。今回の経験が二人の今後に生かされることを願っています。

ひと花通信

このたび、月に1回「マシュマロタッチ」ハンドマッサージのボランティアさんにお越しいただけることになりました。

「マシュマロタッチ」は、その名のとおり、やさしく手に触れながら行うハンドマッサージです。温かなぬくもりに包まれながら、心も体もリラックスできるひとときを過ごしていただいています。

利用者さんからは、「気持ちよかった」「手がぽかぽかした」「また受けたい」などの声が聞かれ、大変好評です。施術中は自然と会話が生まれ、笑顔あふれる和やかな時間となっています。

ひと花はこれからもいろんな人たちと交流できることを楽しみに、みんなで仕事をがんばっていきます。

ひと花 ☎32-2120



活動目標⑥
みんなで
ボランティア

私たちの町のボランティア23

今回は、要約筆記
ボランティアサークル「**㊦かんざき**」を紹介します。

要約筆記とは、手話を使用されない聴覚障がいのある方にその場の音声を書いて伝える通訳のことです。毎年神崎郡内で養成講座を開催されており、今年は神河町で開催されました。

今回は、8名が受講され、略号・略語を使いながら短文を要約する等要約筆記の技術を学ぶことに加えて、「聞こえない」ことへの理解を深めました。

受講された方からは「家族や身近な方に難聴の方がおられるので、この講座を学びコミュニケーションを取っていきたくて参加しています。」と感想が寄せられました。受講生の皆さんは熱心に取り組まれている様子で要約技術も大変上達されているとのことでした。



本紙では、定期的に社協ボランティアセンターに登録しているグループを紹介しています。

神河町 みんなの写真展

日々の暮らしの中で見つけた、ちょっと特別な瞬間。住民の皆さんが切り取った“とっておき”の写真を集めた「みんなの写真展」。撮影者それぞれの思いがぎゅっと詰まった写真を紹介します。



氏名 林 史郎（南小田）

『100歳+100歳 ふたりで200歳』

「大正昭和平成令和を生き抜いたおばあちゃん
⑨ 1世紀 あっぱれ！！」

とっておきの写真、お寄せください！

ぜひ見てほしい！自慢したい！写真を募集します！趣味でしていることの写真や、風景の写真、家族の思い出の写真など、写真のジャンルは問いません。

ご応募いただいた写真は、広報紙に掲載させていただきます。思わず誰かに見せたい一枚、ぜひ送ってください。

応募条件 町内在住の方

応募方法

・氏名 ※匿名での掲載を希望される場合は、その旨をご記入ください。

・住所

・写真の説明

・一言メッセージ

を記載の上、写真データを社会福祉協議会のメールアドレス(kamikawa.syakyo@gmail.com)にお送りください。

※データでの提出が難しいときは、写真を窓口にお持ちください。

締め切り 8月25日

※応募が多数の場合は次号への掲載とさせていただきます。



氏名 佐想晴香（大山）

チャボ

「去年の8月の写真です。少しでも高い所が落ち着くのでしょうか。メスのチャボは、なかなかトサカが出ずに頭がふわふわなままでした。今はちゃんとトサカがあります。」

社協が通帳と印鑑をお預かりし、 お金の管理をお手伝いします!

ー日常生活自立支援事業の紹介ー

督促状



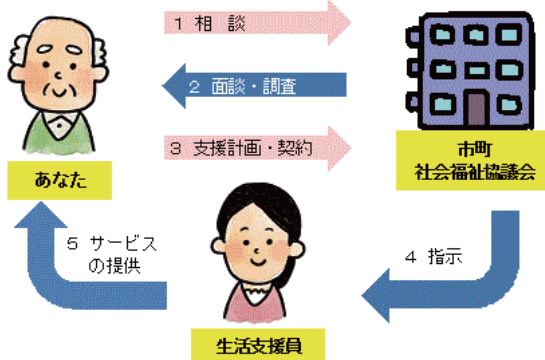
日常生活自立支援事業は、ネットショッピングなどの通販で度々商品を購入してしまったり、生活費の出金や公共料金などの支払い、滞納などに悩んでおられる方、また、行政手続きなどの様々な手続きに困っておられたりする方に対して、金銭管理、代行などのお手伝いをします。

具体的には、本人やご家族に代わって社協で通帳や印鑑をお預かりし、社協職員がご本人宅を定期的に訪問して必要な生活費を直接お渡しします。支払いがあれば代行し、届いている郵便物の内容確認、また福祉サービスなどの手続きや利用料の支払いも行います。なお、この事業の利用料は無料です。

詳しいことは、気軽に社協へお問い合わせください。

神河町社協 TEL 32-2303

<日常生活自立支援事業の流れ>



利用されている方の声...

- 年金のやり繰りや色々な手続きに悩んでおられた方より…
「一人暮らしで不安でしたが、今は社協にお世話になって安心しています。」
- 衝動買いなどでお金を浪費してしまい、給料日前にはほとんどお金が無くなっていた方…
「生活のアドバイスしてもらって、今はゆとりができました。」

地域で安心して暮らし続けるために

～神河町障がい者基幹相談支援センターの紹介～

基幹相談支援センターは、障がいのある方やそのご家族が地域で安心して生活を続けられるよう、総合的な相談支援を行う地域の中核的機関です。神河町では町から委託を受けた社会福祉協議会が運営しており、福祉制度やサービスをはじめ、暮らしに関わる幅広い相談を受けています。

- 日常生活における不安や困りごと
- 医療、介護、教育、就労等との連携
- ひきこもりや社会的孤立、住まいのこと
- 親亡き後のことや将来への不安のこと など

ここ近年、障がいのある方の抱える課題が複雑化してきています。その困りごとをまずは整理し、必要な機関につないだりしながら“その人らしい暮らし”を一緒に考えて、地域全体で支えていけることを目指します。

「どこに相談したらええかわからへん」「こんなこと聞いてええんかな？」どんな内容でも大丈夫です。まずはお気軽にご相談ください。

＊障がい者基幹相談支援センター
電話 32-0027

お茶を飲みながら丁寧にお話をお聞きします。

- ＊日時 8月8日(土) 10:00～12:00
- ＊場所 神崎支庁舎
- ＊対象 誰かに相談したい方
- ＊申込 基幹相談支援センター【神河町社会福祉協議会】

えん

くらしとこれからの相談サロン

「ひとり暮らし高齢者のつどい」の終了について

これまで赤十字奉仕団との共催で、町内77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、会食形式の「ひとり暮らし高齢者のつどい」を年1回実施してきました。

しかし、開催会場や参加状況などについて課題が出てきたことから、今後の実施について赤十字奉仕団と検討を重ねた結果、「ひとり暮らし高齢者のつどい」は令和7年度で終了としました。今年度からは、福祉給食サービスなどを通して、生活課題を抱えた高齢者などへの見守り支援事業をより充実させていくこととします。

うぐいす荘、神崎保育園、あやめ苑、寺前保育所、

社会福祉協議会が共催でミニバザーを開催！

◎物品提供のお願い

ご家庭で使っていない洗剤類、飲料、食料品がありましたら8月31日までに各施設までお持ちください。なお、食料品は消費期限が1か月以上あるものをお願いします。

※このバザーの収益は、町内で生活に困られている方の支援に活用します。

◎物品の販売

・日程：9月10日（木）シニアカレッジ終了後より販売開始

・場所：中央公民館グリンデルホール



神河シニアカレッジ公開講座のご案内

日時

8月6日（木）10時30分～12時

場所

神河町中央公民館グリンデルホール

演題

高齢者の社会参加と介護予防
～どんどん活躍ますます元気！～

講師

愛知淑徳大学 健康医療科学部
准教授 渡邊良太氏



年齢を重ねても、自分らしく元気にいきいきとくらしたい
そんな想いを応援する講座です。

本講座では、「社会参加」が心と体にもたらす効果や、
今から始められる一歩についてわかりやすくお伝えします。
公開講座ですので、どなたでもお越しいただけます。

※この講座は、神河町中央公民館との共催事業です。

心身障がい等により低所得である世帯への援護事業

公益財団法人 姫路十字会

このたび、神河町において左記の内容により令和8年度事業を行いますので、対象となりうると思われる方、また該当施設はご応募ください。
なお、各申請については当法人の選考基準により審査および選考をおこないます。

1. 心身障がい等により低所得である世帯への援護金給付

援護金…3万円

対象…神河町に在住で、家族の中に重度の心身障がい等【身障手帳1級・2級・3級、療育手帳A判定、精神保健福祉手帳1級】の方がおられる世帯

条件…住民税が非課税世帯であること

方法…神崎支庁舎の健康福祉課窓口を設置された申請用紙に記入し、姫路十字会に郵送してください。

添付書類…身障手帳等の写し、非課税世帯証明（家族全員の非課税証明）

2. 心身障がい者施設等への助成

対象…神河町内の心身障がい者施設等

助成内容…施設の環境整備に係る物品の購入、工事等に対する助成金の支給

申請方法…申請書および付随する書類を姫路十字会に郵送してください

（申請書は姫路十字会ホームページからダウンロードできます）

3. 各申請書の受付期間

受付期間 令和8年8月1日（土）～8月31日（月）

4. 支給日

令和8年9月25日（金）

お問い合わせ先 公益財団法人姫路十字会 電話 079（224）0001

心配ごと相談のご案内

8月は

暮らしの安心相談

●開設時間／13時30分～16時30分

【相談内容】終活／行政・人権

終活に関する不安や悩みに関して、専門の相談員が相談に応じます。また、別室にて行政への意見や要望については行政相談委員、人権に関する相談については人権擁護委員が相談に応じます。相談時間は、1件につき概ね1時間です。

暮らしの安心相談

開設日	会場	相談員
8月26日（水）	神崎支庁舎第1会議室	終活相談員
	神崎支庁舎第2会議室	行政相談委員（高内三千男、保西瞳） 人権擁護委員（前川修子）

※予約のない方でも相談に応じますが、相談日当日は15時までの受付とします。また予約者優先のためお待ちいただく場合があります。

9月は

法律相談



●開設時間／13時30分～16時30分

土地や金銭問題などの各種トラブルについて、弁護士が法律に基づきご相談に応じます。相談時間は、1件あたり30分を予定しております。

法律相談

開設日	会場	相談員
9月16日（水）	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

※法律相談は予約制です。

予約申込み先 神河町社協 電話 32-2303

感謝のお知らせ

(5月11日～7月10日) (敬称略・受付順)

【善意銀行】ありがとうございます

「喜びや悲しみ、また楽しいこと、うれしいことがあった折や人生の節目などに、あなたの思いを込めて、善意銀行へ預けませんか。広く福祉事業へ有効に使わせていただきます。」



氏 名	地 区	預託いただいた方からの「ひとことメッセージ」
大 成 正 悟	中 村	母が大変お世話になりました。
加 門 英 樹	宮 野	父、和弘が皆様に大変お世話になりました。
林 卓 夫	作 畑	母、林笑子がお世話になり、ありがとうございました。
桼 原 浜 子	吉 富	主人、敏幸が皆様に大変お世話になりました。
前 嶋 宏 哉	吉 富	父、正昭が皆様に大変お世話になりました。
宮 木 秀 敏	福 本	父、堅士が皆様に大変お世話になりました。
預 託 合 計		160,000円

善意銀行の預託金は、子育て世代支援イベントの開催や子育てひろば、ボランティアの活動助成金、高齢者などへの福祉給食サービスの材料代などに使われています。

*善意銀行への預託は、確定申告の際、所得税の寄付金控除を受けることができます。また、次年度の町民税についても控除対象となります。(いずれも下限額あり)

みんなの畑の仲間募集

認知症や障がいによって、誰かの支えが必要なお状態になっても、地域で活躍したい。そんな思いを叶えるのが『みんなの畑』です。

この『みんなの畑』の参加者と、参加者を見守りながら一緒に畑作りをしてくださるサポーターを募集しています。

みんなで助け合いながら、一緒に野菜や花を育ててみませんか？お問い合わせは、社協まで。

※「みんなの畑」は栗賀町にあります。



※社協HPやInstagramから、『みんなの畑』の様子がご覧になれます。

神河町社会福祉協議会 ホームページ&Instagram



ホームページ



Instagram

かみかわペンリレー

町内の皆さんを一つの輪でつなげます。 88人目



前号の鉢木花歩さん(中村)

からの紹介

つばた りこ
坪田 莉杏 さん(栗賀町)
(小学3年生)

質問:あなたの性格を分析してみると...

答え:おもしろいことが大すきで、ちょっぴりなき虫

質問:人にちょっと自慢できることを教えてください

答え:体がやわらかい

質問:あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え:やさしい人がたくさんいる

質問:将来の夢は何ですか？

答え:赤ちゃんがうまれるのを手つだうびょういんでお仕事したい

質問:あなたが今、夢中になっていることはどんなこと？

答え:絵を書くこと

質問:今までで、一番思い出に残る出来事は？

答え:家族ぜんいんで、鳥取砂きゅうからの日の出を見たこと

質問:もし何でもかなう魔法があれば、何を願いますか？

答え:大すきなスヌーピーがいるユニバーサルスタジオジャパンで、毎日友だちと遊びたい

◎神河町のみなさんへのメッセージをどうぞ！

かみかわ町のみながいつまでもしあわせにくらせますように

◎花歩さんから莉杏さんにメッセージ

いつも遊んでくれてありがとう♥

これからもいっぱい遊ぼうね♥